

2014, 09, 02 NO, 673

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2-7 0745-43-2415

吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3-5 090-5257-4446

森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1-1 0744-33-8570

(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0-5 0745-43-2661

概算要求 100兆円突破

大企業優遇・
軍事費膨らむ

財務省は29日、各省庁からの2015年度予算の概算要求を締め切りました。一般会計予算の要求額は、総額101兆7000億円程度で過去最大。大企業優遇の「新成長戦略」推進や地方創生を受け付ける約3兆9000億円規模の特別枠に対する要求は、ほぼ上限に達しました。軍事費の要求が過去最大となるなど、“安倍カラー”が際立った要望となりました。

一般会計予算要求は年々増加し、今回初めて100兆円を突破しました。財務省は、国債の利払いなどに充てる国債費を14年度当初予算比11%増の25兆8238億円と見積もりました。

安倍政権が憲法を踏みにじる集団的自衛権行使容認の閣議決定を行なうなか、防衛省は総額5兆545億円を要求しました。

厚生労働省は医療や介護などの社会保障費の自然増8155億円も含め、3%増の31兆6688億円を要求。

国土交通省は、公共事業費を16%増の6兆121億円要求しました。整備新幹線には国が負担する建設費として横ばいの720億円を要求。延伸区間の開業時期前倒しに関する経費は、具体額を示さない「事項要求」としました。

3大都市圏環状道路などを重点的に整備することも盛り込みました。経済産業省は、新興国市場の確保をめざした事業に23・5億円を要求。また、官民一体でインフラ輸出を促進するため、事業実施の可能性調査に8・5億円要求しました。

首相 大企業引き連れの
べ445社・団体 124
5人
武器・原発
外遊で売り込み

安倍晋三首相は2012年12月の就任以来23回の外遊で、のべ54カ国を訪問し、その多くで大企業関係者を引き連れて日本企業の商品を売り込む「トップセールス」を展開してきました。日本共産党の佐々木憲昭衆院議員の調べによると、安倍首相の外遊に同行した大企業関係者は、のべ445社・団体の1245人に上ります。(表)

安倍首相は昨年3〜5月のモンゴル、ロシア、中東訪問を皮切りに、トルコ、アフリカ諸国、インド、オーストラリア、中南米などを外遊してきました。外務省によれば、8月29日時点での安倍首相のべ外国訪問数(54カ国)はすでに歴代最多とされてきた小泉純一郎元首相の51カ国・地域を上回っています。

安倍首相の外遊は、経団連の榊原定征(さだゆき)会長を筆頭に、35〜383人もの大企業関係者を同行させてきたのが特徴です。旅費と宿泊代は各企業・団体が負担。人選は安倍首相の意向で官邸サイドが行い、官邸の呼びかけに企業側が応じる形です。

安倍首相に同行した榊原氏は訪問先のブラジルで「今回の総理のご訪問は中南米諸国とわが国との交流拡大に向けて新たな歴史を切り開く画期的なものであった」「その歴史的な訪問にわれわれ経済界が同行できたことを大変うれしく思っている」(2日)と喜びをあらわにしました。

これまでの外遊で安倍首相は(1)武器輸出に向けた協力関係の確立(2)原発の輸出(3)住民を追い出す大型開発への日本企業の参加―を促してきました。英仏とは新たな軍事技術やミサイルの共同開発で合意し、武器輸出の拡大に道を開きました。原発輸出ではトルコやインドなどへの売り込みに躍起になっています。

外遊に同行した企業には、三菱重工、東芝、日立製作所、川崎重工、日本電気、IHIなどの原発・軍需メーカーや、大建設、鹿島建設、大林組などの大手ゼネコンがずらりと名を連ねています。

国内外からの怒り買うだけ
佐々木衆院議員の話 安倍首相は、国民に大増税、福祉切り捨て、物価高を押しつけながら、多国籍大企業のために

大きな意味持つ勝利
東電に賠償命令
被災者“償い直ちに”
原発被害判決

「家族に寄り添った判決」「大きな意味を持つ勝利だ」。26日、福島第1原発事故で避難生活中に自ら命を断った渡辺はま子さん(当時58)の遺族に対し、東電に賠償を命じた福島地裁判決。原発事故で避難生活を余儀なくされている被災者らは、遺族とともに勝利の喜びをかみしめました。

判決後に記者会見した夫の幹夫さん(64)は「判決を聞き、涙が止まりませんでした。家族に寄り添った判決で、はま子にゆっくり休んでくれよと言える。裁判をやってよかった」と述べ、安堵(あんど)の表情を浮かべました。

提訴した当初には『賠償金をもらっていないながら金目当てだろう』などと言われました。亡くなったものは帰ってこないが一つの区切りが付けられた」と語りました。

弁護士団の広田次男弁護士は「全面勝利です。きわめて大きな意味を持ち、十分に評価に値するものです。東電は社会的責任を果たすべきです。人間としての道徳をわきまえた判決で、脱原発の運動に大きな影響を与える」と話しました。

福島原発被害弁護団は同日、声明を発表。「東京電力は、判決を真摯(しんし)に受け止め、加害者として、はま子さんの遺族に対して、心から謝罪し、判決に従って、償いを直ちに行うべきです」と要求しています。

2014年8月27日

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

安倍首相の外国訪問時に同行した企業・団体

出発日	訪問国	企業数	主な同行者・人	
2013年	4月28日	ロシア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、トルコ	118(383)	トルコへの原発輸出をめざしている三菱重工、伊藤忠など
	5月24日	ミャンマー	43(117)	ティップ開発を進める住友商事・丸紅・三菱商事など
	8月24日	バレーン、クウェート、カタール	92(210)	経団連会長、中東協力センター会長など
	10月28日	トルコ	10(35)	三菱重工、伊藤忠など
2014年	1月10日	コトジボール、モザンビーク、エチ	47(121)	経団連サハラ地域委員会委員長ら
	1月25日	インド	28(77)	原発輸出をめざしている三菱重工、日立、東芝など
	7月6日	ニュージランド、オーストラリア、パプアニューギニア	39(43)	経団連会長、日豪経済委員会会長ら
	7月25日	メキシコ、トリニダード、トルコ、コロンビア、チリ、のべ21カ国	68(259)	経団連会長ら
合計			445(1245)	

外務省資料から作成

秋の空気？

今週からは新学期も始まり九月に入りましたね。先週の中頃からは、空気が入れ替わった感じが有りますよね。なんでも、立秋を過ぎてから掛かる前線は秋雨前線なんです。で、この前線の北側と南側とは全く違う秋と夏の空気になっていくらしく、これが、先月の大気の不安定な状態を作っていた気圧配置なんだそうです。豪雨はかないませんが夏の空気が入れ替わってくれる事は大歓迎ですね。とはいってもこのまますんなりとは行ってくれないでしょうがね。

さて、来週(十日)からは九月議会が始まります。今議会は、去年一年間の一般会計や国保会計など

の各特別会計の決算認定が大きな議題の一つになるのと、新制度として来年から取り組むべく国が整備を進めている、子どもの保育に関する取り組みが様相を一新しようとしており、それに伴い法改正が成されているので、それに合わせて町の対応を決めて行く内容が議論されます。

制度が改まる場合、従前の内容が充実する事が当然望まれます。現在のところ、町内では、新たな展開は無いようですので、当座、変わらないとの事です。町外での展開次第では影響がどう出るか読めない所です。

川西町議会
議員
芝和也



「歩いて行く二人」

10日程前になるでしょうが、新聞の片隅の広告が目に留まりました。ごく最近世界文化社から発行された「歩いて行く二人」という本で岸恵子さんと吉永小百合さんの対談です。

切り抜いた広告を早速図書館に持参し、「この本有りますか？」と聞くと無いとのこと。しかし有難い事に数日後取り寄せて下さいました。

二人の対談は映画、結婚、恋愛、スポーツ、パリ、沖縄、原発、そして世界平和に至るまで幅広く、深くぐいぐい引き込まれていきました。

そして所々に散りばめられた二人の横顔の写真、パリでの対談風景など女優としての美しさは勿論ですが、御本人の今迄の

努力と芯の強さというものがもし出ず輝きが魅力的です。

岸さんは沖縄嘉手納基地の見学をした時、当時の県知事の大田さんに御挨拶に行き「陰ながら心から応援しています」と言ったら「みなさん、陰ながらなんです」とおっしゃったことがものすごく痛かった。と言われてます。

吉永さんは日本は二回の被爆、福島のこともあり日本が一番核廃絶を率先して言ったらどの国も納得するはずだがアメリカとの同盟でそれが言えないのが残念で悲しいと言われています。

輝きながら歩いて行く二人に拍手を送ります。

田原本議会
議員
森 良子



防災訓練

先日、東小学校で実施された田原本町総合防災訓練を見学しました。

町から支給された防災服、帽子を身に着けて本部席に座らせていただきました。消防団員、防災婦人クラブ、町職員、消防署、天理警察署など総勢二〇〇人以上が整列した姿は壮観でした。

婦人防災クラブの放水訓練、消防団と磯城消防署の放水訓練に続き、奈良県消防操法大会(八月二十一日)に出場された消防団第六分団のポンプ車操法模範演技は、テキパキとした所作、大きな声、素早い行動に感心しました。週に三日もの練

習に取り組んで大会に臨んだそうです。

地元から参加されていた方は、「震度七の揺れはすごかった」「煙の中では何も見えなかった」「六リッターはいる非常用飲料水袋をもらったよ」と仰ってました。積極的に参加された方々は色々得るものがあつたようです。

積み土のう訓練は、簡単なようで重労働ですが、先の台風の時も実践されており、スコップで土を袋に詰め一〇〇以上の土のうを作り、短時間で見事に積み上げられました。

田原本議会
議員
吉田容工



福島第一原発事故 ⑤

先週に続き伊東達也(浜通り医療生協理事長・原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員)さんの報告要旨を紹介します。

「強制避難地区以外の地域に住む人々への基本的な問題は低線量被爆の健康に対する不安の声を全く聞かず、わずかばかりの一時金額を通知して終わろうとしているところに問題がある。政府と東電がこうした問題点にまともに応えようとしていないことから、全国各地で裁判が立ち上がり、集団による提訴が福島地裁(最大3000人)をはじめ17地裁支部でなされ、原告は約6800人となっている。

現時点の健康問題で県

民が最も心配しているのは子ども達の甲状腺がんである。県の県民健康管理調査検討会議の2014年5月19日発表によれば11〜13年の3年間で調査対象約37万人のうち80%に当たる約29万6千人が1次検査を受け、がんと確定したのが50人。がんの疑いが39人であった。検査結果に対する公式見解は8月に公表されることになっている。どんな見解が公表されても原因論争に終わらせず(県民対立を続けることなく)子ども達の健康診断、検査、医療の継続的な保障にあることを忘れてはならない」としています。

三宅町
池田年夫

